

# Introduction

～ まちの人紹介 ～



## 地域おこし協力隊 移住・定住促進支援員

みやうち  
宮内

みき  
美希さん



「地域の皆さんと関わりながら、少しずつ雄武町のことを学び、盛り上げていけたらと思っています」と話すのは、8月から地域おこし協力隊の移住・定住促進支援員として雄武町役場に勤める宮内美希さんです。

札幌市出身で、市内大学を卒業後、保険・人材派遣の営業、ディズニークラスターなどを務め、その後、地域おこし協力隊の採用を機に転入。

現在担当している仕事の内容について聞いてみると「移住・定住促進支援員として、地域に新しく移り住んだ方や、これから移住を考えている方が安心して暮らせるようにサポートする役割を担っています。具体的には、住まいや仕事、子育て環境などについての相談に乗ったり、地域の人との繋がりを

づくりのお手伝いをしています」と移住者の生活を支える様々な活動を行っているそうです。「着任してまだ日が浅いですが、上司と一緒に町にとって何が必要かを話し合いながら、様々なアイデアを考える日々やりがいを感じています。これからも、移住や定住を考えている方にとって魅力ある町になるよう一つずつ取り組み、気軽に相談できる窓口を目指して頑張ります」と今後の目標についても話してくれました。

最後に休日の過ごし方について聞いてみると「旅行や食べ歩きが好きで、その土地の食べ物や温泉を楽しんでいます。映画を観たりもします」と笑顔で話してくれました。

宮内さんの今後の活躍に注目です。

## 雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一励まし合い、希望と自信をもって、生きがいのある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

## ◆編集後記

## Editor's note

▼冷たい風に夏の終わりをを感じる今日この頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか。私はこの夏、初めて新型コロナウイルス感染症にかかりましたが、健康のありがたさを改めて実感しました。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期ですので、どうぞご自愛ください。秋の訪れとともに、皆さまが健やかに過ごされますよう願っています。（舘田）